

予期せぬ出来事

44歳 女性

ある日曜日の出来事でした。

私は仕事中、何気なく携帯電話を見たら実家から2回着信があったのです。なぜか胸騒ぎがして実家に電話したけど誰も出ません。

すると、中学3年の娘が泣きながら私の職場に来ました。

「何かあったと？」と聞くと、「弟が車にはねられた。」

私は一気に血の気が引いたような感じがしました。言い知れぬ不安で体が震え、とにかく上司に訳を言って、病院まで息子の無事を祈りながら走りました。

私が、病院に着くと同時に救急車も到着しました。救急車の扉が開いた瞬間、私を呼ぶ息子の声。痛々しい姿ではありましたが、「生きている。」

娘の話では、外で遊んでいると思っていた息子が、今までに聞いたことがないような声で泣き叫ぶので、慌てて外に飛び出したら道路で血だらけになり泣いていたそうです。

そんな弟を見て、娘もどんなに不安だったでしょう。

事故は、息子の飛び出しが原因でした。

でも、息子は車にはねられたあと引きずられたんです。何メートルも。

車が止まると同時に自分で出てきたそうです。

車の運転手は、どうして何かにぶつかったと感じた時にすぐ止まってくれなかったのでしょうか。相手の運転手は、「見えなかったから猫かと思った。」と。例え猫であっても一つの命です。すぐ止まるのが常識です。

引きずられたせいで、息子の体は傷だらけでした。「あの時すぐに止まってくれたらこんなに傷だらけにならずに済んだのに。」そう思うと怒りが込み上げてきました。

消毒するたびに泣き叫ぶ息子。暴れる体を押さえつけて、ただ、「頑張れ、頑張れ。」と言うことしか出来ませんでした。できるものなら代わってあげたいと。

その日は息子と一緒に病院のベッド。痛みでなかなか寝付けずにいる息子に、携帯電話で動画を見せているとポツリ、「僕ね、車に引きずられた時のこと覚えているよ。怖かった。」と息子が言いました。その時、「飛び出しがどが怖いか、車が怖いか分かったやろ。」と言うと、息子は、「うん。」という返事。

けど、どんなに怖かったか、どんなに不安だったか、今もその事を思うと、涙が出てきます。

次の日、お昼には退院しましたが、傷口を痛がる息子。トイレへ行くにも足が痛くて歩けないというので抱っこして連れて行きました。

退院はしたけれど、このままで本当に大丈夫なのかという不安があったので、次の日、大きい病院に連れて行くことにしました。

離島なので交通手段は船だけ。片道約3時間船に揺られて病院に到着。外科、皮膚科、整形外科、脳神経外科をそれぞれ回る時も抱っこで移動。案の定、皮膚科では、「消毒はイヤだ〜！」と泣き叫びました。

けれど、やっぱり地元の病院の治療と違って、帰る時には昨日まで苦痛で顔をゆがめていた息子から笑顔も出てくるようになっていましたので、それだけでも連れてきて良かったと思いました。

離島だから病院はあっても医療設備が整っていない。もしもの事があった時、他の病院へ搬送するにしても、船もしくはドクターヘリあるいは自衛隊のヘリに乗っての移動になる。その不安って分かりますか。

相手の運転手は、息子のおでこの傷を見て、「男の勲章たい。」と言うけれど、もしもそれが自分の息子だったら、孫だったら、そんな軽はずみなこと言えますか？

自分のはねて、引きずった相手が生きているから、貴方は何事もなかったかのように普通の生活が出来ているのです。

でも、被害者である息子は、傷跡とあの時の恐怖を忘れることなく成長していくのです。「命のあったけん良かったね。」それだけじゃ済まされません。